

町

民のみなさま、新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、旧年への思いを残しつつも、新たなお気持ちで新春をお迎えのことと存じます。

また、町政の推進にあたり、温かいご理解とご協力をいただいておりますことを、衷心より感謝申し上げます。おかげさまで、昨年3月に再選させていただきましたが、まちづくりに向けての課題も一期目の4年間で自分なりに把握できたと思っておりますので、そのことを踏まえ具体的な施策を講じていきたいと存じます。諸施策の概要につきましては、昨年6月定例議会で示した施策方針や町長選挙時に配布させていただいた「わたしの約束」で述べていますが、改めて記してみたいと思います。

まず、福智町の将来像を考えたい時、最重要の取り組みとして、町内に存在する人的・物的資源等の活用を図り、観光のまちづくりを推進することによって、交流人口の増加につなげたいと考えています。これは、町内商工業の振興に寄与すると同時に、町財政も自主財源の確保が期待できる大きな取り組みになると信じています。また、福智町を「観光のまち」として認知してもらうためには、基幹産業の農業の活性化が必要不可欠であることは、言うまでもありません。農業従事者のかたをはじめ、関係機関団体とも連携しながら、多角的な視点でその方策を考え、実行に移してまいりたいと存じます。

最近、無縁社会という現象がマスコミ等で取り上げられていますが、私は、町発展の原動力は地域の結束力（絆）にあると思っています。日本の良き伝統であった相互扶助・共助の意識の再生に向け、有効な手だてを講じ、町全体の絆の強化に努めるつもりでございます。財政の健全化や教育・文化の振興にも、引き続き意を注ぎ、更なる前進を期したいと考えています。

結びに、どなたでも安心して暮らせる福祉環境の充実に全力を傾注することをお約束して、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

新

年あけましておめでとうございます。平成23年の年頭にあたり、福智町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、国外ではハイチ・チリ・中国青海省において大地震が発生し、甚大な被害が出ました。またアイスランドでは、まれに見る大噴火がおこり、ヨーロッパを中心に各国航空便が欠航となるなど、自然の猛威をさまざまと見せつけられました。

国内では、ご承知のように、アメリカ軍普天間基地の移設問題で政権が揺れるといった様相を呈し、宮崎県では、家畜伝染病「口蹄疫」が発生し、それぞれ家畜農家に甚大なつめ跡を残しました。また、国をあげての景気対策は依然として回復が見込めず、厳しい雇用情勢が続いており、先行きの不透明感は、全く払拭できない情勢であります。

地方自治体もまた、長引く景気の低迷や雇用情勢の悪化、少子高齢化の到来など、さまざまな課題に直面し、行政そのものが大きく変化を余儀なくされているといった状態です。

このような厳しい状況の中、早いもので福智町は合併後5年を迎えようとしています。重要な行財政改革は一向に進展せず、公共施設の統廃合、自主財源の確保、滞納問題など、早急に取り組まなければならない課題を多く抱えているといった昨今です。我々議会といたしましても、このような課題を真摯に受け止め、提言・指摘をおこなっていき、町民のみなさまがより快適に住み、働き、さらには一段と憩うことのできる福智町を目指して、全力で取り組んでまいります。

今後とも、まだまだ多難な財政状況と、依然として厳しい環境でございますが、町民のみなさまの更なるご支援、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げますと共に、新しい年が、みなさまがたにとりまして輝かしいものでありますよう、ご祈念いたしました。新年のご挨拶といたします。



福智町長

浦田弘二



福智町議会議員

属公弘

New Year's greetings 2011

年頭のごあいさつ